

Audio-Technica LINK Simulator

操作ガイド

はじめに

Audio-Technica LINK Simulatorについて

Audio-Technica LINKシステムにおける機器構成と電力供給をシミュレーションするウェブアプリケーションです。構築したい接続機器の構成に基づき電力計算を行い、必要に応じてLINKエクステンダーの追加が必要かどうかを確認できます。



- 本アプリケーションのシミュレーション結果は参考値です。実際にシステムを構築する際は、お客様ご自身で十分確認を行ったうえで、運用してください。



- 本アプリケーションでシミュレーションする製品の一部はお住いの地域や国ではご利用いただけない場合があります。対応製品については、お近くのオーディオテクニカ販売店にお問い合わせください。

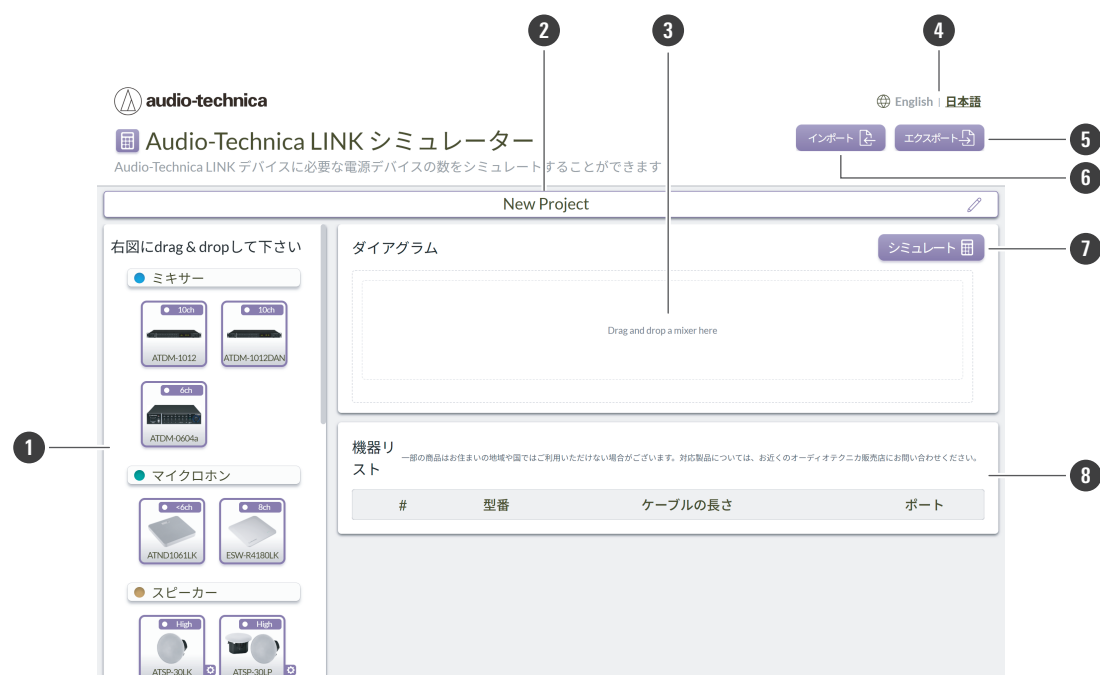
推奨環境

Audio-Technica LINK Simulatorはパソコン用です。タブレットやスマートフォンでは使用できません。

項目	環境
OS	Microsoft Windows 11 macOS Sequoia macOS Sonoma
ウェブブラウザ	Microsoft Edge Google Chrome Safari

画面の見かた

メイン画面



1 機器選択エリア

シミュレーションに必要な機器などを選択します。

項目名	説明
ミキサー	使用するミキサーを選択します。
マイクロホン	使用するマイクロホンを選択します。
スピーカー	使用するスピーカーを選択します。
コントロールパネル	使用するコントロールパネルを選択します。
ケーブルの種類	使用するLANケーブルの規格を選択します。
単位	表示する単位をメートルまたはフィートに切り替えます。
電力供給機器を追加	使用したいエクステンダーを選択して、エクステンダーの配置や個数をシミュレーションします。

2 プロジェクト名

プロジェクト名を表示します。右側の鉛筆アイコンをクリックして、プロジェクト名を編集できます。

3 ダイアグラム表示エリア

機器選択エリアで選択した機器をドラッグ&ドロップして表示します。

4 言語切り替えボタン

表示する言語を切り替えます。

5 エクスポートボタン

シミュレーションした結果をJSONやCSV形式で出力したり、印刷したりします。

6 インポートボタン

本アプリケーションでエクスポートしたJSON形式のファイルを取り込みます。

7 シミュレートボタン

ダイアグラム表示エリアに表示した機器を元に、正しく電力供給を行うのに必要なエクステンダーや、すでに選択しているエクステンダーで正しく電力供給を行えるかシミュレーションします。

8 機器リストエリア

選択した機器やシミュレーションした結果を表示します。

使いかた

シミュレーションする

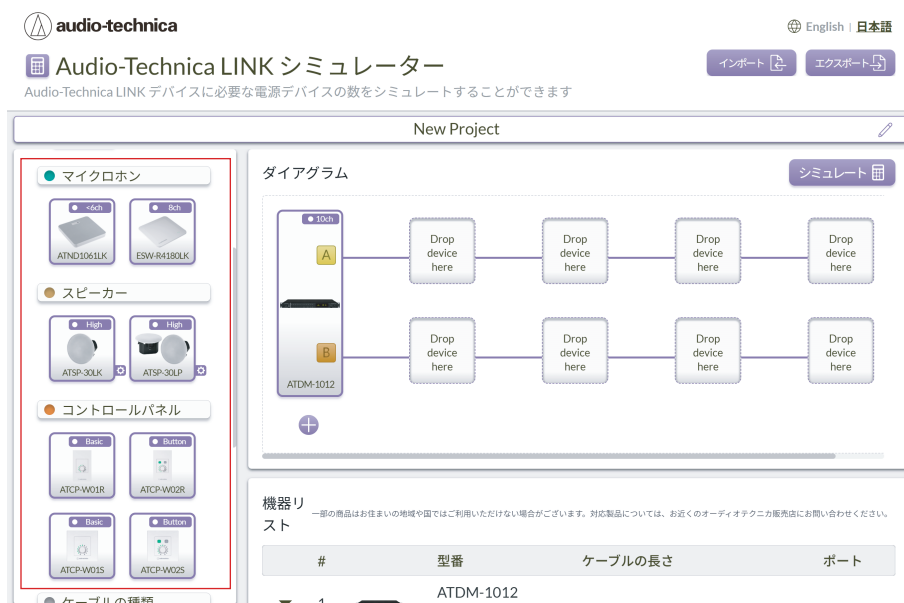
1 機器選択エリアから使用するミキサーをダイアグラム表示エリアにドラッグ&ドロップします。

- 複数台追加することもできます。



2 機器選択エリアから使用するマイクホンやスピーカー、コントロールパネルをダイアグラム表示エリアにドラッグ&ドロップします。

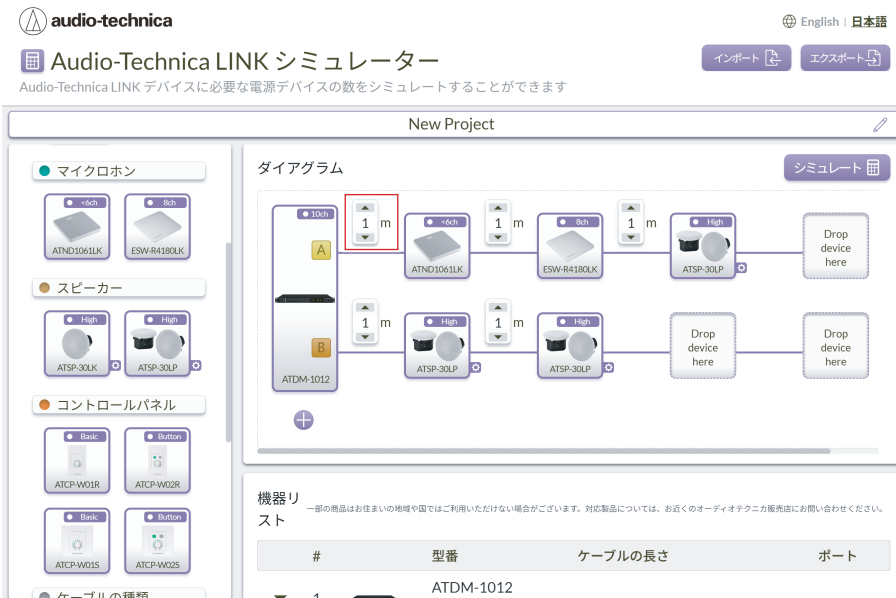
- ドラッグ&ドロップで機器の並べ替えや機器の間に追加することもできます。
- 機器を削除する場合は、削除したい機器のアイコン上にカーソルを移動して右上に表示される×アイコンをクリックします。



3 機器の間にケーブルの長さ入力エリアが表示されるので、ケーブルの長さを設定します。

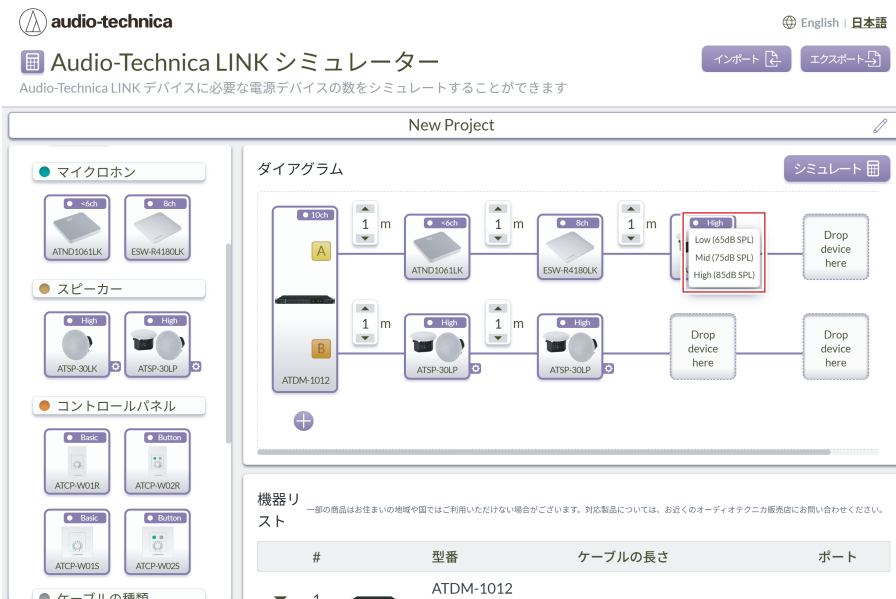
使いかた

- 数字の上下に表示されている三角アイコンをクリックするか、直接入力してケーブルの長さを設定してください。



4 スピーカーの右下に表示されている歯車アイコンをクリックし、音量レベルを3つのモードから設定します。

- スピーカーは出力する音圧によって電圧が変わるため、実使用環境で想定される音量レベルを設定してください。より正確にシミュレーションすることができます。



項目名	説明
Low (65dB SPL)	大空間や騒がしい環境での使用に適しています。
Mid (75dB SPL)	BGM での使用に適しています。
High (85dB SPL)	会議などスピーチでの使用に適しています。

5 機器選択エリアの「電力供給機器を追加」をクリックして、使用を検討しているエクステンダーをダイアグラム表示エリアにドラッグ&ドロップします。

- エクステンダーを配置しないでシミュレーションし、エクステンダーを推薦してもらうこともできます。

使いかた

- ATLK-EXT25は供給元に応じて供給電力が異なるため、右下の歯車アイコンをクリックして、供給電力を設定します。



6 機器の配置や設定が完了したら、シミュレートボタンをクリックします。



- ≫ シミュレーションが実行されます。電力の供給が問題ない場合、電力供給は十分である旨のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。電力の供給が十分でない場合、電力が不足している旨のメッセージが表示されます。条件に適したエクステンダーを推薦してもらう場合は「はい」を、自分で再度配置する場合は「いいえ」をクリックします。

機器リストを確認する

選択した機器やシミュレーション結果を確認できます。

The screenshot shows the 'New Project' window of the Audio-Technica LINK Simulator. On the left is a sidebar with settings for cable type (AWG24), unit (Meter/Feet), and power supply devices (ATLK-EXT30, ATLK-EXT25, ATLK-EXT365). The main area displays a '機器リスト' (Device List) table. Callout 1 points to the product image of the mixer. Callout 2 points to the model number 'ATDM-1012'. Callout 3 points to the power usage information for Port A (90%) and Port B (32%). Callout 4 points to the 'A' port indicator for the first mixer. Callout 5 points to the '1 m' cable length for the first mixer.

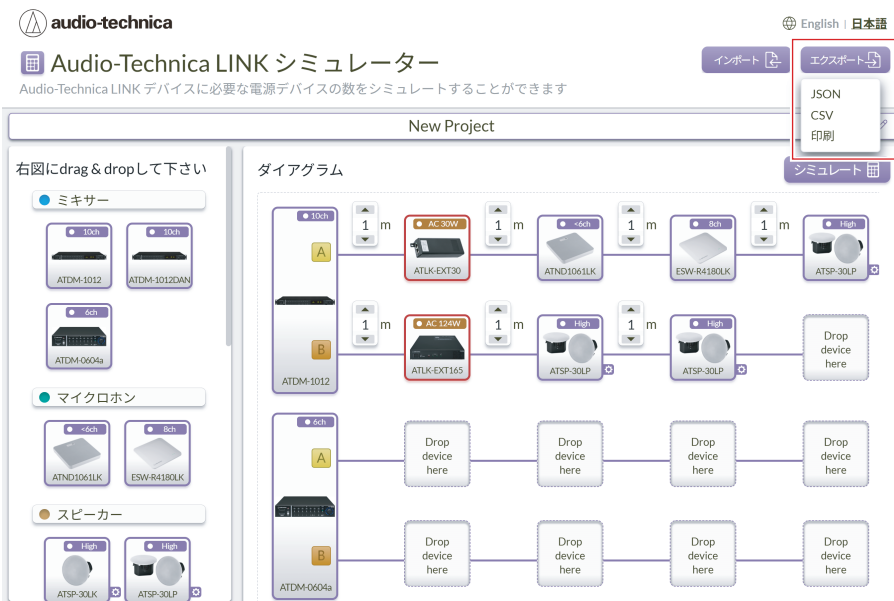
#	型番	ケーブルの長さ	ポート
1	ATDM-1012 10ch Digital Mixer		
	ATLK-EXT30 Powering Device	1 m	A
	ATND1061LK Ceiling Microphone	1 m	A
	ESW-R4180LK 8ch DECT Wireless	1 m	A
	ATSP-30LP Network Ceiling Speaker	1 m	A
	ATLK-EXT165 Powering Device	1 m	B

- 1 製品画像
- 2 型番
- 3 各ポートの末端での電力使用率
ミキサーの行には各ポートの末端での電力使用率が表示されます。
- 4 接続されているミキサーのポート
- 5 ケーブルの長さ

シミュレーション結果を保存する

1 エクスポートボタンをクリックして、「JSON」/「CSV」/「印刷」をクリックします。

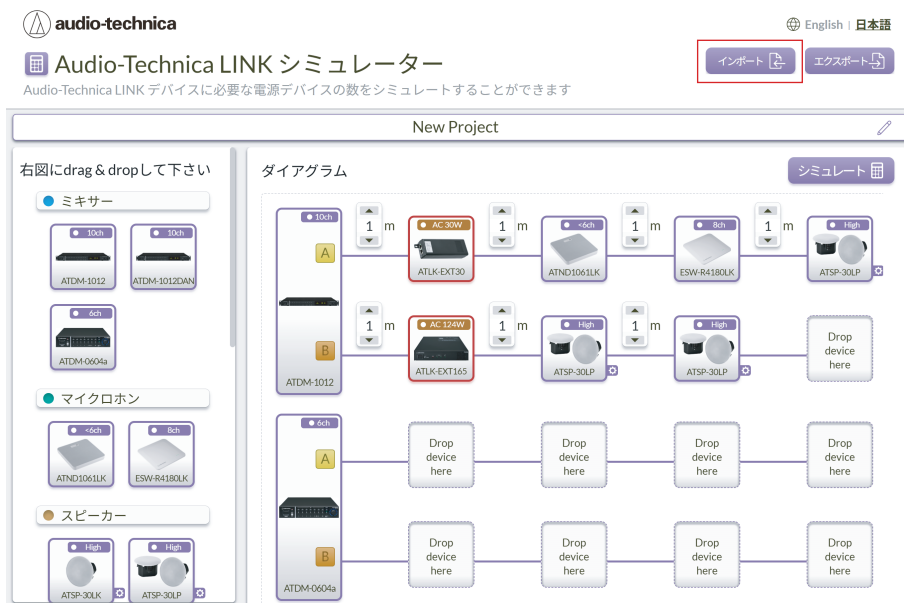
- JSON形式で保存すると、後で本アプリケーションにインポートすることができます。
- CSV形式で保存したり、印刷したりすることもできます。



保存したシミュレーション結果をインポートする

1 インポートボタンをクリックして、JSON形式のファイルを選択します。

- インポートできるファイルはJSON形式のファイルのみです。



株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp

Audio-Technica Corporation

2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan
www.audio-technica.com
©2025 Audio-Technica Corporation
Global Support Contact: www.at-globalsupport.com

ver.1 2025.12.01